

参加したことで、メンバーが演奏会を良いものにするために練習を重ねていることにすごいと思いました。人との関わり大切さも知ることが出来た活動です。

② インターアクト年次大会

ーテーマ「幸せって何だろう？」ー

1年生は初めての大きな体験として年次大会に参加をしました。年次大会では、他校の生徒と出された課題について議論をし、交流を深めます。映画「イーちゃんの白い杖」を見終わった後のグループディスカッションでは、映画を受けて「幸せとは何か」を主な論点とし話し合いました。私のグループでは、「普通の暮らしができること」「笑顔が絶えないこと」「家族と過ごせること」など様々な意見が出ました。私はこのディスカッションを通して、今まで深く考えたことのない「幸せ」について考えることが出来ました。また、自分の意見を他校の生徒と共有することにより、それぞれの意見を比較したり、自分の意見をより客観的に見直し、さらに深く考えることが出来たと思います。それにより、一方向だけでなく、様々な面から「幸せ」について考えることが出来ました。

③ インターアクト指導者講習会

ーテーマ「地域の持続可能性～活性化への取組～」ー

指導者講習会では、テーマである地域の持続可能性、活性化への取組みについての講話を聞き、地域のゴミや海のプラスチックゴミの問題などについても学びました。またホスト校である伊豆総合高校の生徒たちが行っている清掃活動についても知ることが出来ました。地域の持続可能社会について、家の周りのゴミを拾うことによって地域の環境がよくなることや、周りには自分からゴミを拾う人がいることを知りました。地域の人達と協力することで、より良い生活や環境になると思います。

④ ハングル講座

ハングル講座を受講し、難しくても挑戦すること、また、相手のことを理解しようとするのも大切だと思いました。韓国は隣の国ですが、知らないことが意外と多く、知ると日本との共通点や似ていることが多いことに驚きました。



活動を通じて学んだこと

・インターアクトでは、地域の方、他校のインターアクターなど、交流する機会が少ない方々ともボランティア活動を通じてコミュニケーションを取りながら楽しく活動することが出来ました。これらの経験を部活動以外にも活かせるようにしていきたいと思いました。

・たくさんのボランティア活動などに参加して、地域の人達と交流することが出来ました。機械化が進んでいる中で、人との交流は貴重で、大切だと思いました。そして、ボランティアをしている中でたくさんの笑顔を見ることが出来、交流とともに笑顔も大切だと思いました。誰かが笑顔になることで、周りの人達も笑顔で心広くいられるのではと思いました。

・私がインターアクト部での様々な活動を通じて学んだことは、「参加すること」「行動すること」の大切さです。何事も考えているだけでは何も変わらないし、実際にその場所へ行き、活動することによって得られるものは少なからずあると思います。また、これは部活動に限らず私生活のどの場面にも当てはまることだと思います。行動に移すことを避け続けてしまうと、考えるだけで終わってしまい、実行に移すことが出来なかった後悔が残ってしまいます。しかし、行動に移すことが出来れば、その物事を自らが経験でき、自分自身の考えの変化、つまり成長することへつなげることが出来ると思います。そして、その経験を別の場面で活かすことも出来ます。私はこの先もここで学んだ「行動すること」を大切にしていきたいです。

・私は自分の視野を広げたり、人との交流をするためにも国際交流はとても大切だと思いました。他の国の文化や言葉を学ぶことはとてもためになることだと思います。今後は積極的に国際交流に参加をしていきたいと思っています。

・私が活動を通じて学んだことは、将来役立つことを見つけることが出来たことです。ボランティアはちょっと面倒くさいと思ったり、自分にとって利益がないと心が折れそうになったこともありましたが、誰かが幸せになったり、自分にとっては将来について役立つことも学べると考えたら、現在も活動を続けられています。ボランティアというのは目に見えないことだけれど、成果が一番感じ取ることが出来るので負の面が何も無いと私は思います。なので、私が学んだ「ボランティア精神」というものを将来に役立てていきたいと思いました。